

STプロジェクト・900km を超えオンライン社会見学・実習

高校生のみなさん 社会医療法人清和会へようこそ！



清和へようこそ 理事長 林 輝男（医師）

社会医療法人清和会は、島根県石見地方における唯一の入院施設を有する精神医療機関として長年にわたり圏域の精神医療を担ってきました。当法人は、西川病院、こころクリニックせいわ、地域支援を担当するヴィレッジせいわの3部門より成り、自由・開放・科学の理念のもと、科学的根拠に基づいた医療の提供（科学）、精神障害者の社会復帰の促進（開放）に長年力を注いできました。日本で初めて内鍵付き個室開放病棟を開設し、現在では ACT や IPS など日本では稀な先進的地域支援も展開しています。当法人の最大の特徴は、スタッフが意見を述べ合い、創造し、チャレンジできる風土（自由）であり、明るい前向きなスタッフこそが、患者さんの回復を達成するための最大の原動力になると信じている点です。



常盤高等学校の皆さんへ 看護部長 佐々木 幸枝（看護師）

看護師になって、アメリカに行くなんて皆さんは想像できますか？でも、事実です。病は、人種を超えていました。同じ人であることを実感した視察でした。そして、精神科の看護師としてやる事がたくさんあるとすることが出来ました。

私たちが高校生へ清和会の医療の現状だけでなく、アメリカの最先端、精神医療機関の視察のこともお伝えします！

山本直紀（精神保健福祉士）

通所サービス課

国が違えばこんなにも文化や考え方が違い、自分たちのしていることが「当たり前」ではないことに気づける貴重な体験でした。



5 就労支援施設



2 日常生活

牛尾慎司（精神保健福祉士）

入所サービス課

障がい者の「・・・になりたい」という目標に向かって、スタッフがシンプルに丸となっていることに、まず感銘を受けました。

的場めぐみ（精神保健福祉士）

障がい者基幹相談支援センター

アメリカでの沢山の出会いは、驚きの連続でした。私たちが実践している地域福祉や精神科医療の「当たり前」を考え直す大きなきっかけでした。



3 行動制限



1 リハビリテーション

船主礼（公認心理士）

地域連携室

私は公認心理士として、地域連携室に勤務しています。アメリカを見て、今後日本の精神医療に可能性を感じています。

田原美和子（看護師）

身体合併症病棟

一人一人のストレングス（強み）に着目し、自立に向けてという視点での支援が行われている事を強く感じる事が出来る視察になりました。アメリカの人は、おおらかで寛大でした。



6 デイケア



4 コンプライアンス

吉永昇（看護師）

開放療養病棟

アメリカ視察では、日本で真似のできないことをしているのではなく、当たり前の事を地道に継続していくことの大切さを学びました。

藤川太球磨（精神保健福祉士）

デイケア科

「常識を疑え！」これが、私がアメリカ視察研修で得た1番の事です。様々な人との交流は、多くの気づきを得る機会となるのです。



6 デイケア



4 コンプライアンス

山下由美（臨床検査技師）

総務課

大きな目標を達成するために短期、中期、長期の戦略を立て、期限を決めて実行していく。問題点を議論するのではなく、何が効果的かを求めていく。という2つの事を感じた視察でした。

竹本ともえ（看護師）

開放療養病棟

英語が話せず、不安でいっぱいでした。が、気が付くと次々質問している自分がいて、とても楽しくワクワクした1週間でした。



3 行動制限



5 就労支援施設

佐々木裕介（看護師）

通所サービス課

アメリカ視察に行き、精神障がいを抱える「当事者」が主体となって行われる取り組みに大きな刺激を頂きました。

高校生へのガイドは、6コースにそれぞれ3名ずついます
このメンバーはアメリカに行ったメンバーです！
他にも素敵なスタッフがお待ちしています。



5 就労支援施設

川本拓大（作業療法士）

SIPS（就労相談支援員）

書籍や動画の媒体を通してではなく、現地の支援者から直接お話を伺えたことがとても貴重な経験でした。